

平成26年台風第11号による 災害復旧事業費の見込額

(平成26年8月29日現在)

津市分 1,554件 約30億円



農地・農業用施設	695件	13.9億円
林道	326件	2.1億円
道路・橋りょう	344件	6.6億円
河川	188件	7.3億円
下水道	1件	0.04億円

平成26年9月1日

台風第11号による災害復旧に向けた予算対応

緊急対応

平成26年8月14日付けで補正予算を専決 1,645万円

農業用水路の通水確保・道路交通の安全確保(26件)

本復旧に向けた予算スケジュール

① 本格復旧に向けた経費・国の災害査定準備

補正予算案を追加議案として本定例会へ提出予定

早期着手の国庫負担・補助災害復旧工事費、国庫負担・補助災害査定に向けての測量設計委託料、市単独事業の施設修繕料など

② 本格復旧に向けた経費(主に国災事業)

別途補正予算案作成 国の災害査定後(11月頃)

※林業施設を含め、今後の調査により更に増加する見込み

がんばる地域交付金を活用

通学路の安全対策を強化



平成26年9月1日

通学路などの交通安全対策への取り組み

道路を通行する歩行者、車両等の安全確保を図るため、道路反射鏡、防護柵、視線誘導標、区画線、道路照明灯等の設置や既存の交通安全施設の老朽化、破損等による施設の修繕、改修等を実施

交通安全対策の実績例

- ▶ 自転車専用通行帯の整備
- ▶ カーブミラーの修繕、ガードレールの補修

交通安全対策に係る予算額

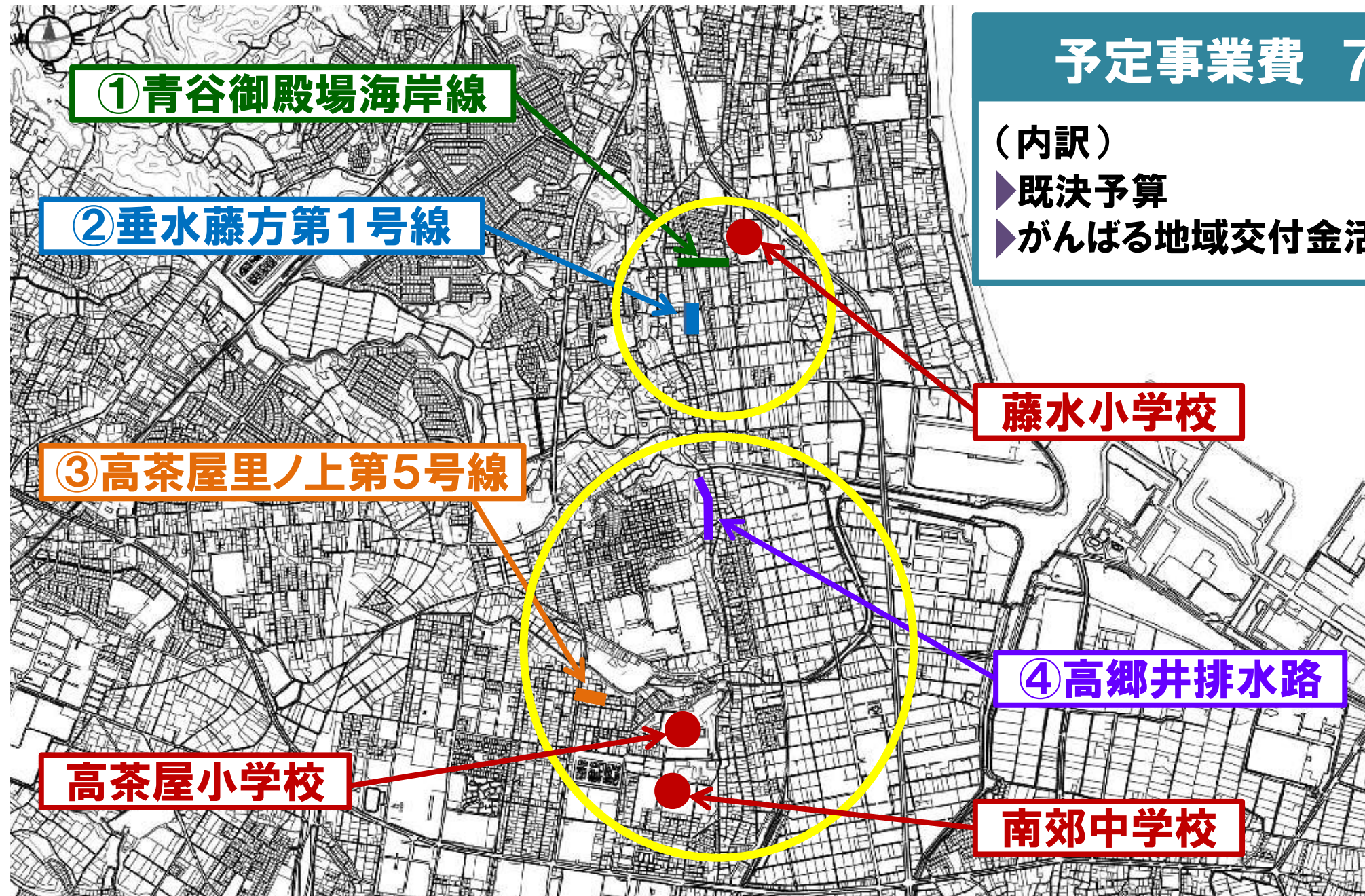
平成26年度 当初予算額	9月議会補正予算 計上額	合 計
8, 511万8千円	4, 900万円 (がんばる地域交付金)	1億3, 411万8千円

自転車専用通行帯を
整備した道路



県立美術館付近
(津駅見当山線)

がんばる地域交付金活用予定事業箇所



予定事業費 7,050万円

(内訳)

▶ 既決予算

2,150万円

▶ がんばる地域交付金活用

4,900万円

がんばる地域交付金活用予定事業①

①青谷御殿場海岸線(工事延長150m)

津北工事事務所管内

場 所 津市藤方地内

概 要 水路の暗渠化及び蓋の無い側溝の改修

効 果 水路の蓋掛けを行うことによる歩行者空間の確保



工事前の様子



工事後のイメージ

がんばる地域交付金活用予定事業②

②垂水藤方第1号線(工事延長130m)

津北工事事務所管内

場 所 津市藤方地内

概 要 道路路肩への擁壁の新設及び蓋の無い側溝の改修

効 果 道路法面への擁壁の設置及び側溝の蓋掛けを行うことによる歩行者空間の確保



車両が走行すると、歩行者が待避する場所が無い

工事前の様子



擁壁及び側溝蓋掛けを行い、道路拡幅し歩行者空間を確保

工事後のイメージ

がんばる地域交付金活用予定事業③

③高茶屋里ノ上第5号線(工事延長107m)

津南工事事務所管内

場 所 津市高茶屋三丁目地内

概 要 交差点付近の水路の暗渠化及び蓋の無い側溝の改修

効 果 交通量の多い県道沿いの横断歩道の滞留スペースの確保



工事前の様子



工事後のイメージ

がんばる地域交付金活用予定事業④

④高郷井排水路(工事延長171m)

津南工事事務所管内

場 所 津市高茶屋二丁目地内

概 要 高郷井排水路の暗渠化

効 果 水路に蓋を設置し暗渠化することによる安全な歩行者空間の確保



工事前の様子



工事後のイメージ

がんばる地域交付金の概要

アベノミクス効果の全国への波及が求められる中で、景気回復が波及していない財政力の弱い市町村が行う、地域活性化に向けた事業に対して、平成25年度補正予算において「がんばる地域交付金(地域活性化・効果実感臨時交付金)」を創設

所管

内閣府
(地域活性化推進室)
※各府省に移し替えて執行

交付対象等

交付対象 ▶ 実施計画を策定する市町村
交付方法 ▶ 実施計画に掲載された事業に対し、交付限度額を上限として交付金を交付
交付限度額 ▶ 各市町村の追加公共事業等(直轄及び補助)の地方負担額等をベースとして算定

平成25年度補正予算額

870億円
(津市:約3.8億円)

交付金の使途

▶ 建設地方債の対象となる地方単独事業
▶ 建設国債の対象となる国庫補助事業
(公共施設等改修事業、公共施設等整備事業、道路整備事業等)

使途

がんばる地域交付金を活用

課題となっている危険な通学路の解決に向け、有効な交付金を活用し、迅速に事業に取り組むため、道路、水路の整備のための工事請負費4,900万円を平成26年第3回市議会定例会(9月議会)の補正予算案に計上



前倒しで交通安全対策事業を推進し、
迅速に児童・生徒の通学路の安全を確保！



(仮称)道の駅津かわげの レイアウト(案)が完成！

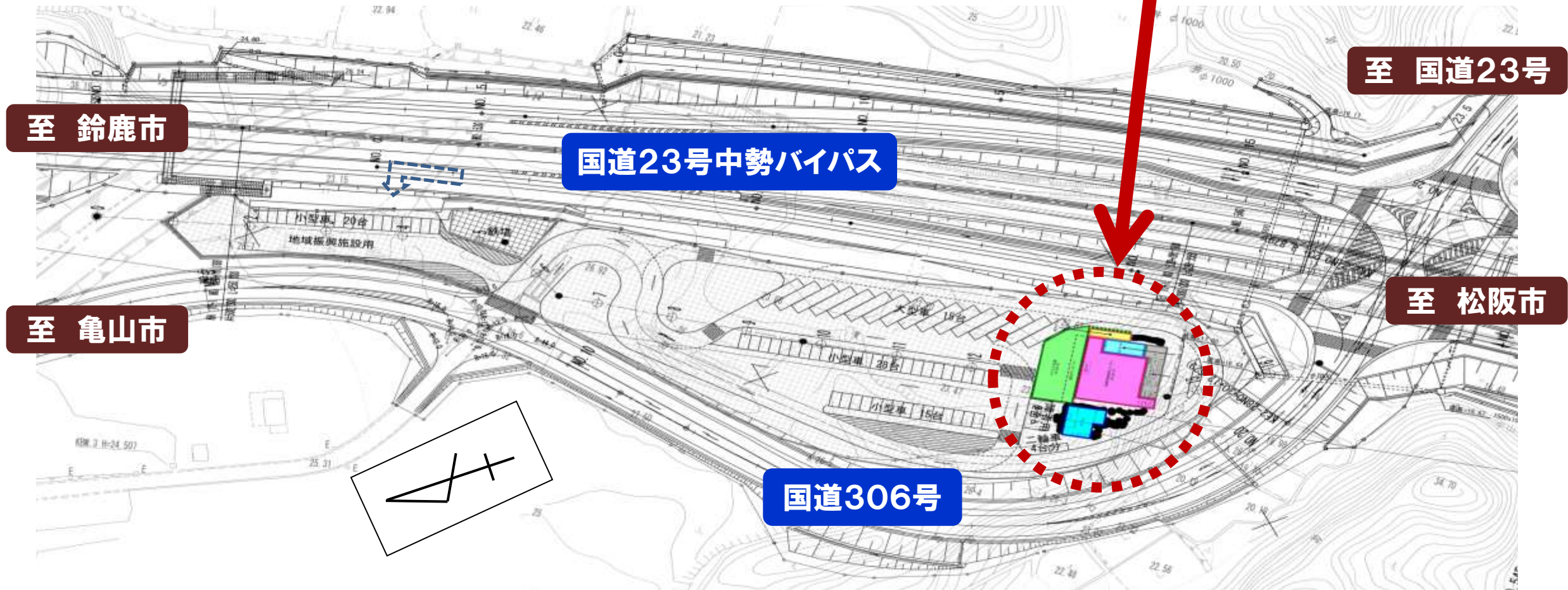


(仮称)道の駅津かわげ 地域振興施設完成予想図

平成26年9月1日

道の駅全体の配置

(仮称)道の駅津かわげ 整備予定平面図



海のもの 山のもの 津のもの すべてそろろう かわげの丘

地域振興施設の概要

地域特産品等の販売が行え、併せて道路及び地域の観光等の情報提供とイベント等が実施できるなど、利用者の交流の場となる地域振興施設を整備

構 造

鉄骨造平屋建

延床面積

520㎡程度

施設内容

地域物産販売コーナー

地域農林水産物及び特産品等を販売するため、面積は施設全体の2分の1以上を確保することとします。また、表側前面をガラス張りにすることで、明るく利用者の方から内部の様子がうかがえ、気軽に立ち寄っていただけるコーナーとします。

飲食・休憩・情報コーナー

飲食、休憩及び情報コーナーを一体的に設置することにより、利用者の方が気軽に休憩いただきながら道路情報及び本市の観光情報等をご覧いただけるコーナーとします。

授乳室、事務室及び出品物作業場等

授乳室や施設管理のための事務室、出品物の確認等を行うための出品物作業場等を設置します。

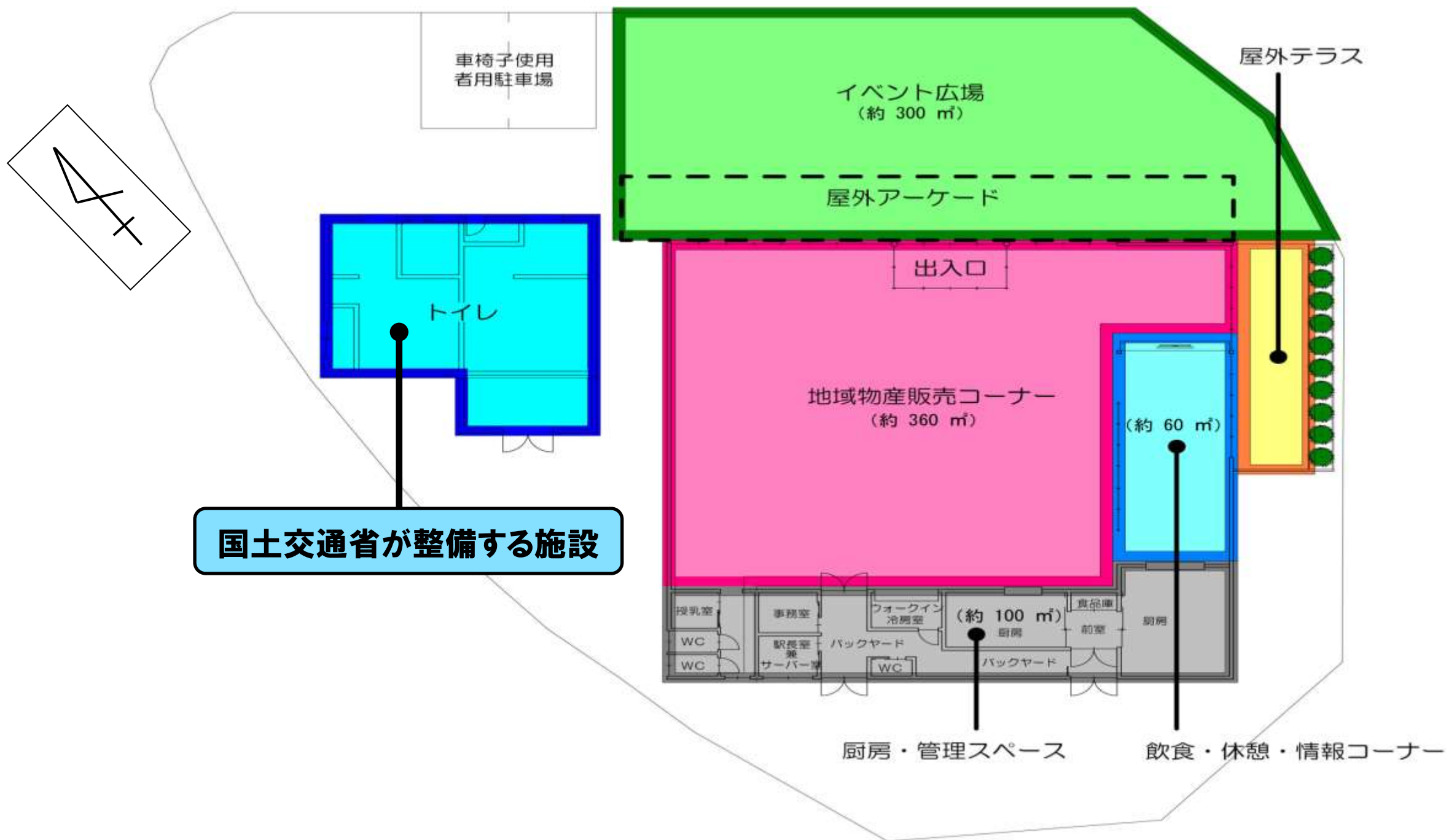
イベント広場及び屋外アーケード

様々な催事に利用していただけるよう300㎡程度のイベント広場を設置します。また、雨天等でも利用者の方が安心して歩行していただき、屋外販売も可能とするため屋外アーケードを設置します。

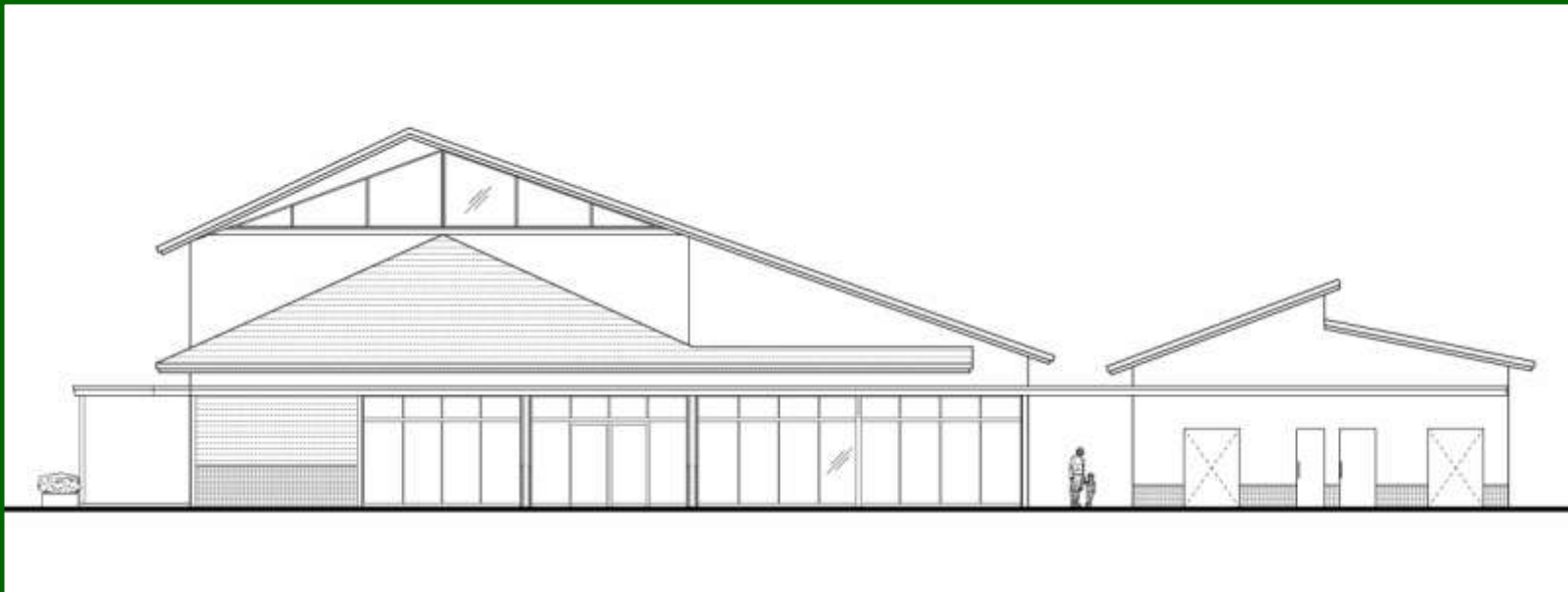
整備スケジュール

本年度に実施設計を行い、平成27年度末の完成を予定

地域振興施設の配置



地域振興施設の建物立面図、断面図

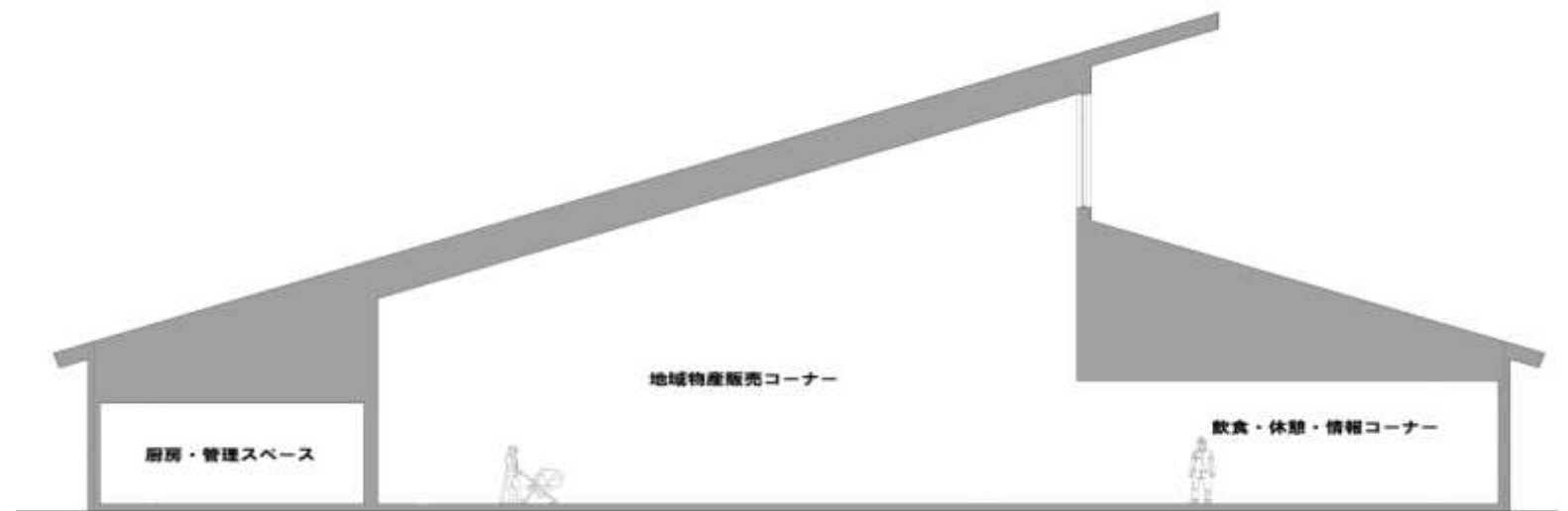


北東立面図

北東側から見た図です。
左側が地域振興施設で、
前面はガラス張りとなっています。
右側は国土交通省が
整備するトイレです。

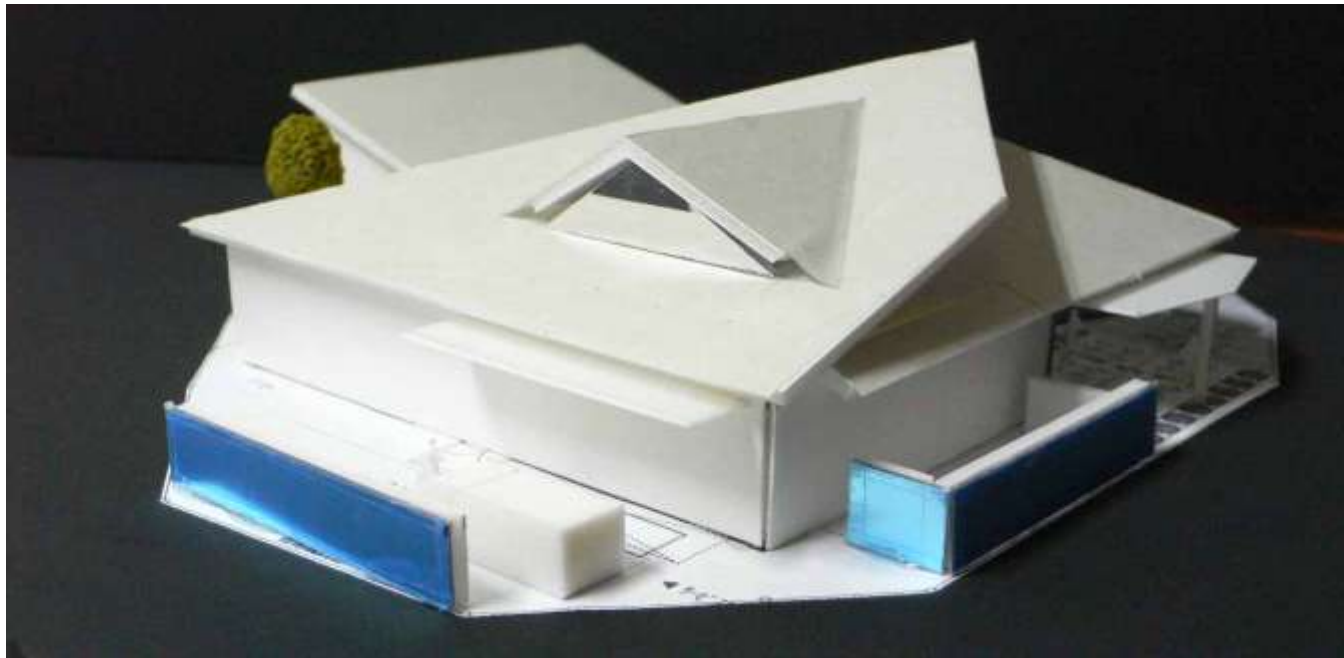
断面図

地域振興施設の北西側から
南東側の断面図です。
地域物産販売コーナーはトッ
プライトから自然光を取り入
れ、ぬくもりのある空間を演
出します。



地域振興施設の建物外観イメージ

北東側外観



南側外観

関心表明の意見を基本設計に反映

	①出品に関する こと	②飲食に関する こと	③運営に関する こと	④イベント広場の 活用に関すること	⑤こんな道の駅 にしてほしい
表明意見	生鮮野菜や加工品、 魚類、花木などの 出品を希望	喫茶、ラーメン、 うどんなどの飲食 の展開	道の駅の運営へ の参画や運営を 希望	音楽イベントの開催、 フリーマーケットなど の実施を希望	施設に地域材の 使用や遊べたり 散歩などが可能 な公園を希望



基本設計への反映	地場産品や特産品 等の販売スペース を建物面積の 2分の1以上を 確保	気軽に休憩しながら 食事を楽しんで いただけるよう 飲食、休憩、情報 コーナーを一体的 に設置	商品陳列棚やイス、 テーブルなどは 移動可能なものと することで、自由な レイアウトが可能	音響設備、電源など の基本的な機能を 整備	多目的に利用できる イベント広場を 設置
	屋外アーケードの 設置				可能な限り地域材 を使用
					Wi-Fi環境整備

地域振興施設内のレイアウト(案)へのご意見募集！

募集期間

平成26年9月1日から平成26年9月26日まで

受付場所

- 商工観光部商業振興労政課道の駅整備推進担当
津市西丸之内23番1号 津リージョンプラザ3階 電話番号 059-229-3114
- 河芸総合支所地域振興課道の駅運営準備担当
津市河芸町浜田808番地 津市河芸庁舎3階 電話番号 059-244-1707

関心表明を反映

基本設計完成

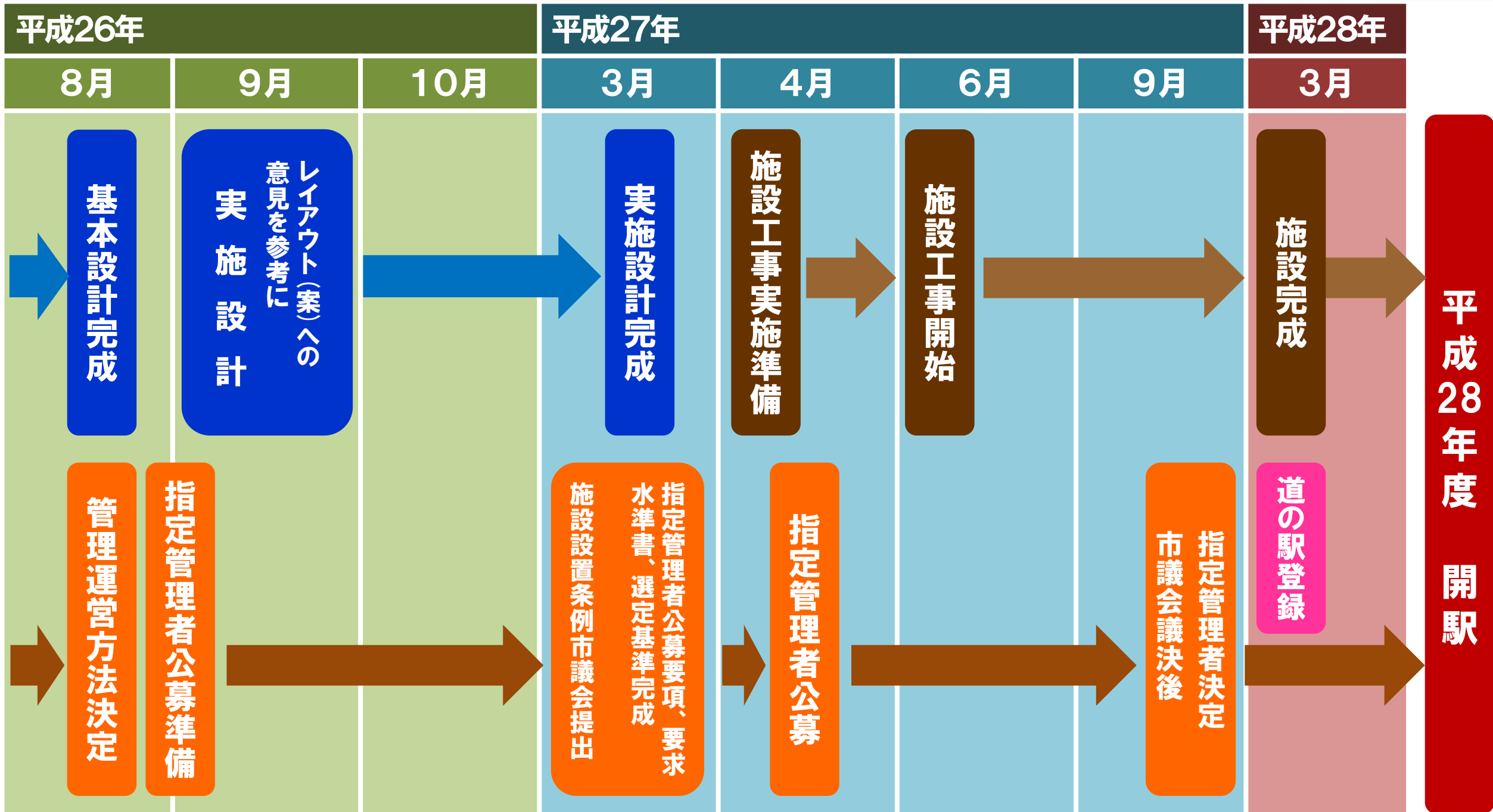
地域振興施設内の
レイアウト(案)

関心のある方からの
ご意見を募集！

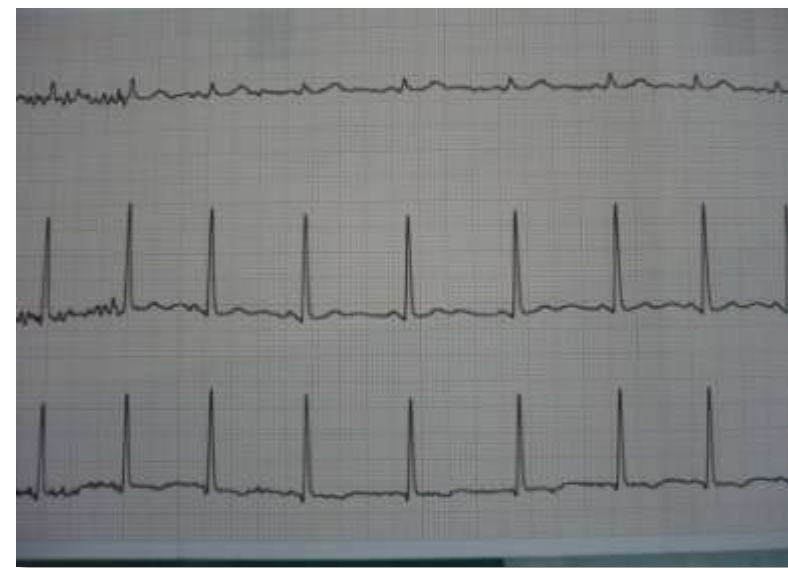
参考

実施設計へ

(仮称) 道の駅津かわげ 整備事業スケジュール



12誘導心電図電送を活用した 救急システムの効果



平成26年9月1日

12誘導心電図の伝送について



救急車側



12誘導心電図モニタ



車内患者室カメラ

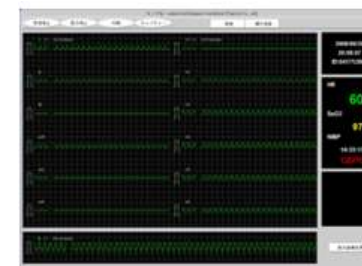
- 伝送できる内容
- ・12誘導心電図
 - ・血圧・脈拍・血中酸素飽和度
 - ・患者室カメラからの映像

傷病者情報を
リアルタイムに
伝送し共有

指示に基づく処置



病院側



スタッフの招集
受入・治療準備

※12誘導心電図とは12方向から心臓の状態を見ることができ、心筋梗塞等の診断に非常に優れています。

平成19年度の救急車両の更新時に合わせて、システムを配備
平成25年10月には予備車を除く、12台の救急車に配備完了
これにより、すべての運用救急車にこのシステムを整備

12誘導心電図伝送システムと循環器輪番病院

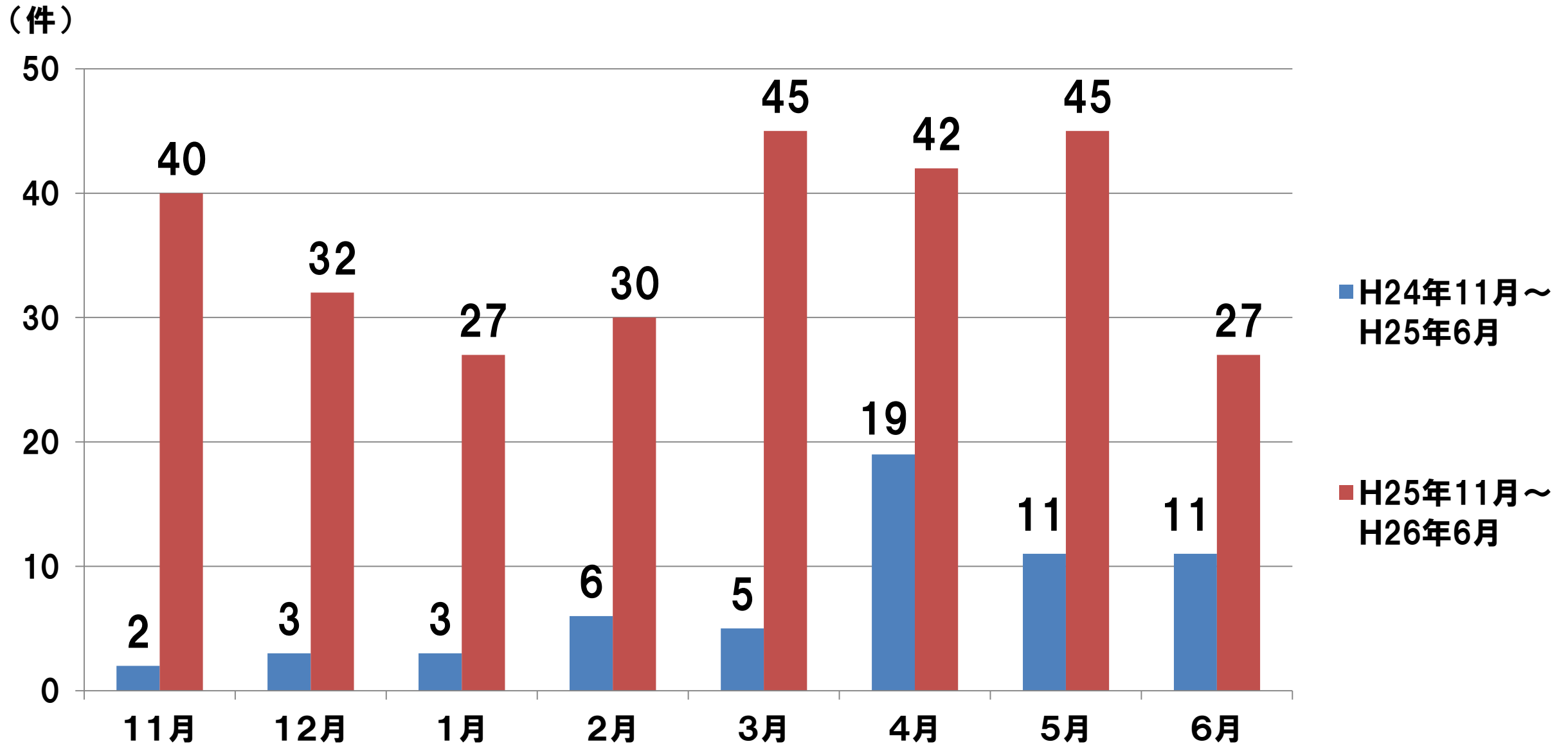
伝送システムと循環器輪番病院の概要



平成25年度から市内の専門処置ができる3つの病院で循環器輪番体制を整備

12誘導心電図伝送の実績①

平成24年(11月～6月期)と平成25年(同期)との比較



12誘導心電図伝送の実績②



A期:H24年11月~H25年6月

B期:H25年11月~H26年6月



		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計	月平均
総搬送 人員	A	1,063	1,262	1,158	1,007	1,093	961	1,028	968	8,540	1,068
	B	1,126	1,178	1,203	1,028	1,103	1,078	1,075	936	8,727	1,091
	比較 (B-A)	63	▲84	45	21	10	117	47	▲32	187	23
心疾患 搬送 人員	A	60	68	78	77	68	61	50	42	504	63
	B	53	48	63	69	56	62	54	34	439	55
	比較 (B-A)	▲7	▲20	▲15	▲8	▲12	1	4	▲8	▲65	▲8
心電図 伝送 実施数	A	2	3	3	6	5	19	11	11	60	8
	B	40	32	27	30	45	42	45	27	288	36
	比較 (B-A)	38	29	24	23	40	22	34	14	228	28

12誘導心電図伝送システムの効果

① 受け入れに係る照会がスムーズに！

② 病院にいる医師が伝送の情報をもとに救急車内の患者を診察可能！

- ・病院での検査時間の省略
- ・救急車が病院に到着するまでの間にカテテルチームを招集

治療完了までの時間
38分短縮！

急性冠症候群患者の病院到着から治療完了までの時間

平成24年	1時間34分
平成25年	56分
時間比較	38分短縮

三重県CCU研究会発表データから引用

重症化の防止・救命率の向上